# 男禁制

帝キネ　現代映畫

原作並脚色者　穴道武郎
監督者　深川ひさし
撮影者　谷口禎

――主要役割――

眞劍な戀を求むる青年　藤間林太郎
獨身主義の女　高津愛子
デパートの賣子　鈴木信子
モダンガール　歌路英子
易者の爺さん　小島洋々
アパートのお主婦　尾崎靜子
編輯室の主任　濱田格

解説――深川ひさし氏の「おゝ母よ」に次ぐ監督作品である。

略筋――獨身者の王國アパートに眞劍な戀を求むる青年と、獨身主義の女が向ひ合せの室に住んで居た。彼は戀をあさつて街の盛場を歩き廻つたが思はしい對手が見當らなかつた。

その内彼は眞劍な戀か何うか、兎に角デパートメントストアの女賣子と共鳴し毎日遊び歩いた。彼は或日素的な足のモガンガルーに惹付けられて後を尾けて行つたが、彼女が裏長屋にはいつて下駄ばきで七輪を煽ぎ初めたのですつかり幻滅を感じた。其時不圖もデパートの女の家を見つけたが彼女は一人の男と同棲してゐた。彼は亢奮して亂暴を働いたが、その男は彼女の兄と判つた。結局彼は彼女から絶交され、剩へ會社まで馘になつて了つた。悲觀の極に達した彼を慰めて呉れたのは意外にも男禁制の獨身主義の女であつた。彼と彼女は以前から互に心秘かに愛し合つてゐたのであつた。眞劍な戀はあさらずともホンノ手近に轉つてゐた。